

科目名	教育原理				担当者名	副島 里美 荒井 聡史 (オムニバス)	
	幼2種・保育士(必修)						
ナンバリング	25E22A01	授業の種類	講義	単位数	2	開講時期	1年・①
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の発達と教育の必要性を理解する ・現代に至るまでの教育思想の変遷とそれに関わる教育制度について理解する ・現代の教育実践の取り組みを理解する中で今後の課題について探求する 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の意義・目的及び教育の制度について理解する ・教育の思想と歴史的変遷について学び、教育に関する基礎的な理論について理解する ・教育の現状と課題を探求する 						
授業計画	回	内 容					
	1	授業の目的と概要について(担当:全教員)					
	2	教育学の諸概念及び教育の本質と目標について(担当:荒井聡史)					
	3	教育の意義と目的及び乳幼児期の教育の特性について(担当:副島里美)					
	4	教育と子ども家庭福祉の関連性について(担当:副島里美)					
	5	教育と子ども家庭福祉の関連性について(担当:副島里美)					
	6	教育の歴史と思想(1)家族と社会による教育の歴史(担当:荒井聡史)					
	7	教育の歴史と思想(2)家庭や学校に関わる教育の思想(担当:荒井聡史)					
	8	教育の思想と歴史(3)諸外国と代表的な教育家の思想(担当:荒井聡史)					
	9	教育制度の基礎及び成立と展開について(担当:荒井聡史)					
	10	教育法規と教育行政について(担当:荒井聡史)					
	11	教育実践の基礎理論(内容・方法・計画と評価)について(担当:副島里美)					
	12	教育実践の多様な取り組みについて(担当:副島里美)					
	13	生涯学習社会と教育について(担当:荒井聡史)					
	14	現代社会における教育課題について(担当:荒井聡史)					
15	授業のまとめ(担当:全教員)						
成績評価方法と基準		評価方法	評価基準			割合	
		小テスト	授業の振り返り			40%	
		提出物	課題等の内容			20%	
		授業態度	授業への積極的参加、予習復習(反転学習)の励行			10%	
		試験もしくはレポート	定期テストあるいはレポートの評価			30%	
教科書	北野幸子編著『改訂 子どもの教育原理』(建帛社) 文部科学省『幼稚園教育要領解説』厚生労働省『保育所保育指針解説』(フレーベル館) 内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(フレーベル館)						
参考図書	適宜指示する						
準備学習	適宜指示する						
課題等に対するフィードバック方法	適宜指示する						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1~4時間を推奨する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等							

科目名	保育原理					担当者名	副島 里美 中野 明子 (オムニバス)
	保育士 (必修)						
ナンバリング	25E22A02	授業の種類	講義	単位数	2	開講時期	1年・①
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の方法や内容の基礎的考え方を理解する ・ 現代保育に至るまでの歴史的変遷を理解する ・ 多様化社会での様々な配慮を理解する ・ 諸外国の保育の現状を理解する ・ 保育者としての専門性と質向上の必要性を理解する 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の保育の目標、方法、内容、特性や、現在の保育に至るまでの歴史的背景など、保育に関する基本的専門的な知識や考え方を理解する。 ・ 現代の保育における課題を理解し、自ら解決策を考えようとする意識を持つ。 						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	授業の目的と概要について (担当: 全教員)					
	2	保育の理念と概念について (担当: 中野明子)					
	3	子どもの最善の利益と子ども家庭福祉 (担当: 中野明子)					
	4	保育の社会的役割と責任について (担当: 中野明子)					
	5	保育に関する法令と子ども・子育て支援新制度について (担当: 中野明子)					
	6	保育の実施体系について (担当: 中野明子)					
	7	保育所保育指針と保育所保育に関する基本原則について (担当: 副島里美)					
	8	保育における養護について (担当: 副島里美)					
	9	保育の目標と内容について (担当: 副島里美)					
	10	保育の環境と方法について (担当: 副島里美)					
	11	保育の過程とその循環について (担当: 副島里美)					
	12	保育の思想と歴史について (担当: 副島里美)					
	13	日本の保育の現状と課題について (担当: 副島里美)					
	14	諸外国の保育の現状について (担当: 中野明子)					
	15	授業のまとめ (担当: 全教員)					
成績評価方法と基準		評価方法	評 価 基 準			割合	
		授業の振り返り	小テスト、あるいは振り返りレポートの提出			40%	
		授業態度	授業への積極的参加、予習復習 (反転学習) の励行			20%	
		提出物	課題等の内容、時間の順守			20%	
		最終テストまたはレポート	定期テストあるいはレポートの評価			30%	

教科書	『改訂版 保育原理の基礎と演習』わかば社 保育原理～はじめて保育の扉をひらくあなたへ～第2版」株式会社みらい 文部科学省 『幼稚園教育要領解説』, 厚生労働省 『保育所保育指針解説書』 (フ レーベル館) 内閣府 文部科学省 厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 (フ レーベル館)
参考図書	適宜指示する
準備学習	適宜指示する
課題等に対するフィードバック方法	適宜指示する
準備学習(予習・復習等) に必要な時間	2時間程度を推奨する
その他 留意事項	
実務経験と資格等	

科目名	保育者論				担当者名	中野 明子	
	幼2種・保育士（必修）						
ナンバリング	25E22A03	授業の種類	講義	単位数	2	開講時期	1年・①
授業内容	今、保育者に求められている倫理観及び資質・能力を概説し、保育者の地位、身分、服務、及び研修の制度を知り、理解を深める。また、連携が必要とされる専門機関や行政組織、制度について等を学び、保育者間で育んでいきたい力（同僚性や実践的能力、保護者支援等）についての学びを深める。						
到達目標	①乳幼児保育教育の意義と保育者の役割を理解する。 ②保育者に求められる資質・能力を理解する。 ③保育者の守るべきサービス及び、保育者と専門機関との連携の必要性を理解する。 ④保育者間の連携、協働について理解する。 ⑤保育者の資質向上とキャリア形成について理解する。						
授業計画	回	内 容					
	1	授業の目的と概要について					
	2	公教育の目的と教員の存在意義について					
	3	教職の職業的な特徴と教員の役割及び資質について					
	4	教員の職務内容と服務上・身分上の義務について					
	5	保育者の役割と倫理について					
	6	保育士の制度的な位置付けについて					
	7	保育者の専門性について					
	8	保育士の資質と能力について					
	9	養護及び教育の一体的な展開について					
	10	家庭との連携と保育者に対する支援について					
	11	保育者の連携と協働（職員間及び関係機関等）について					
	12	保育者の連携と協働（専門職員及び専門機関）について					
	13	保育者の資質向上とキャリア形成について					
	14	保育者の資質向上のための研修と学び続ける意味について					
15	授業のまとめ						
成績評価方法と基準		評価方法	評価基準			割合	
		レポート及び感想文	課題は授業内容に沿って捉えたこと理解を深めた内容について等記述			30%	
		授業態度	グループディスカッション等に意欲を持って参加しているか評価			10%	
		試験	筆記試験。保育者の役割等の理解力を問う			60%	
教科書	今に生きる保育者論 第4版 著者名：編集代表 秋田喜代美・中野明子 発行所：株式会社みらい						
参考図書	「保育者のための外国人保護者支援の本」かもがわ出版						
準備学習	次回のシラバスを確認。教科書および関連する報道等に関心を持ち、授業に臨むこと。						
課題等に対するフィードバック方法	授業で課した課題（レポート等）は作成し提出。返却時にコメントを添え、学びに繋げていく。						
準備学習（予習・復習等）に必要な時間	1～4時間を奨励します。						
その他 留意事項							
実務経験と資格等	福島めばえ幼稚園教諭・横浜市認可保育園園長・福島学院大学短期大学部保育学科にて授業担当。（保育士・幼稚園教諭・保育実習指導者認定）						

科目名	保育内容総論					担当者名	副島 里美
	幼2種・保育士（必修）						
ナンバリング	25E22A04	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・②
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実践を5領域を通して総合的に考える ・乳幼児の発達を生活や遊びの中で具体的に捉える ・乳幼児の指導計画と評価を実際の姿から考える 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域の考え方や内容について理解する ・保育の様々な場面を5領域という総合的な視点から考察する ・「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と保育内容との関連を理解する 						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	幼稚園教育要領と保育所保育指針及び保育内容の歴史の変遷について					
	2	各領域のねらいと内容及び指導上の留意点と評価の考え方について					
	3	領域ごとの内容の関連性及び小学校の教科等とのつながりについて					
	4	幼児の発達に即した保育の構想と情報機器や教材の活用法について					
	5	幼児の発達や実態に即した具体的な保育の過程と指導案の作成について					
	6	保育を改善する視点と各領域の特性に応じた保育実践の動向について					
	7	養護及び教育の一体的な展開する保育と多文化共生の保育について					
	8	長時間の保育及び特別な配慮を要する子どもの保育について					
成績評価方法と基準	評価方法	評 価 基 準				割合	
	授業の振り返り	小テスト				40%	
	提出物					20%	
	授業態度					10%	
	最終テストあるいはレポート					30%	
教科書	金沢妙子 前田和代 編著「遠州 進呈 保育内容総論」（建帛社） 文部科学省『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 厚生労働省『保育所保育指針解説』（フレーベル館） 内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館）						
参考図書	適宜指示する						
準備学習	適宜指示する						
課題等に対するフィードバック方法	適宜指示する						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等							